

## 芸術鑑賞 わらび座ミュージカル いつだって青空～ブルマー先生の夢～

8月22日(木)に芸術鑑賞で、わらび座ミュージカル「いつだって青空～ブルマー先生の夢～」を観劇しました。「日本女子体育の母」とよばれる秋田出身の井口阿くりさんをモチーフにしたストーリーでした。皆さんは、今回の芸術鑑賞でどんなことを感じましたか。ストーリーという観点からは、少し違いますが、ミュージカル等を観ていつも感じる点があります。それは、役者さん達の舞台まにける汗と情熱です。公開本番を迎えるまでの厳しい稽古に汗を流し、本番の舞台で躍る姿がいつも輝いています。役者として舞台上で最高のパフォーマンスを披露し、観衆の皆さんに楽しんでもらおうのが、あの役者さん達の願いであり、夢であるんだと感じます。鑑賞後、全校の皆さんから感想を書いてもらいましたので、その中から何編か紹介します。

私はこの「いつだって青空」から、胸を張って、上を向いて歩くことの重要さを感じました。そして、何事も楽しむことが重要だと思います。一人一人の個性が出ているとてもおもしろいミュージカルでした。(3年)

「いつだって青空」のミュージカルを鑑賞して、あきらめない大切さや、前向きに自分の道を歩いていくことの素晴らしさを知りました。阿くりさんは、女性がスポーツをすることへの理解が無い時代に、女性が生き生きと暮らせる社会の実現に向かい、自分で道を切り拓いていきました。誰に何と言われても、夢を追いかけてあきらめず、前向きな阿くりさんを見て、とてもかっこいいと思いました。(1年)

今回このミュージカルを鑑賞して、女性でもこんなふうに自分の信念を貫き通して強く生きることができると感動しました。今までは男性を題材にしているミュージカルを多く観ていますが、女性中心ということでまた違った物語を楽しむことができました。出演している方々の表情や歌声を聴き、本当にミュージカルが好きなんだということが伝わってきて、私自身も楽しく鑑賞することができたと思います。(3年)

私も阿くりさんのように、自分の意志をしっかり持ち、実現に向け動けるような人になりたいです。そして、今回の劇はミュージカルなので、歌や踊りがとても良かったです。笑顔でこんなにも素敵な歌声や踊りができるのかと驚きました。私も役者さんたちのように堂々と人前で何かをできるようにしたいです。(2年)

全ての感想は紹介できませんでしたが、全ての皆さんが、自分なりに感じたことを自分の言葉で表現してくれました。優れた芸術は私たちの感性を豊かにしてくれますね。

## 英語暗唱弁論大会 優秀賞受賞! 演題「Education First」

8月29日(木)に、美郷公民館で大曲仙北英語暗唱弁論大会が行われ、本校からは3年の熊谷晴さんが暗唱の部に出場し、見事「優秀賞」を受賞しました。審査では、英語の発音等は勿論のことですが、暗唱した内容をいかに自分の中でかみ砕いて理解し、聴き手の心に訴えることができるかが問われます。私も実際に会場で晴さんの発表を聴き、その「訴え」が心に響いてくるのを感じました。この演題の内容は、3年生の英語の教科書に記載しているものです。パキスタン出身のマラウという少女が、テロリストの銃弾に倒れるものの、奇跡的に命を取り止め、国連で「世界中の子供たちに無償の義務教育を保障する」ことを訴えたスピーチの抜粋です。世界中の子供たちを残忍な行為や危害から救うには、「教育が1番である」ことを、晴さんはマラウさんに代わり、しっかり伝えてくれました。



## 2019年度 地域貢献賞 資源物回収活動PR看板2基設置

この度、公益財団 日本教育公務員弘済会の主催する「2019年度地域貢献賞」に応募し、助成対象校に選出されました。助成の趣旨は、地域活性化活動につながる特色のある活動に対し、その活動に要する費用の一部を助成するというものです。本校では、伝統ある資源物回収活動のPR看板を設置することにしました。基本デザインを3年生にお願いし、それを基に地元業者さんに製作を依頼、完成した8月25日(日)に設置してもらいました。右の写真のように、資源物回収小屋(旧自転車置き場)に資源物回収活動PR看板を、資源物分別小屋に資源物回収注意書き看板をと、計2基設置しました。この活動は、JRC委員会を中心に2001年度より、継続しているものです。この収益金は、JRCの活動基金となり、毎年、地元福祉施設等への寄贈品等に使われています。伝統ある活動を引き継ぎ、地域・保護者の方からの協力も得て、豊成中が一体となって頑張っているものです。これからも福祉・環境(エコ)の視点から、この活動に取り組み、地域への貢献を果たしていきたいと思ひます。

